# 留学の今がわかる在学生インタビュー

:中嶋 智美(なかじま ともみ) 氏名

:比較文化学類 所属

留学先国名 : フランス

留学先大学名:ボルドー大学

: 2023年8月~2024年6月、11ヶ月 留学期間





## 現地で経験した印象深い・ 興味深いことを教えてください。

行きの飛行機で隣だったパリマダムが、ボルドーへの電車 待ちの間にエッフェル塔に連れて行ってくれたこと。その あとお家にも招待してくれたこと。初期はフランス語が わからず何もできなかったが、見知らぬ人や友人の友人等 本当に沢山の人が助けてくれた。友人達の実家や祖父母宅 を訪問した時、毎回朝ごはんに甘いチョコムースや シリアルが出てきて驚いた。



## 「日本から持っていけばよかった!」 と思う物がありますか?

簡単に作れるインスタント日本食、風邪の時に食べ られるゼリー飲料や栄養食など



## 辛い時に何をしましたか?

散歩をしたり、友人に話したり、好きな日本の作品を 見たりした。辛い時には英語からもフランス語からも数日 距離をとると、新たな気持ちでまた頑張ることができた。



#### 1日のスケジュール

授業が多い時

07:30 起床

08:30~11:30 授業 (CM)

11:30~13:30 昼食・友人と談笑

13:30~15:00 授業(TD)

15:30~19:00 図書館で復習

19:00~20:00 夕食

20:30~22:00 図書館で課題

22:00~自由

授業が少ない時の午後

10:30~12:30 授業 (CM)

12:30~14:00 昼食·談笑

14:00~17:00 フランス語クラス・自習

17:30~ Atelier Japonais/友人とピクニック

### お金管理について

奨学金:8万円/月 毎月の費用:

·住居費:

162€(本来は250€だが

住居補助有りの為)

・生活費:

食費 200€, その他雑費50€

· 娯楽:

150€(旅行の有無で前後)

・その他:

20€ (交通費)

20€ (simカード)



# CiC留学の特徴・メリット ポイントは何ですか?



筑波大と各学校が強い繋がりを持っているため、色々と 融通がききやすいことがメリットだと思う。実際私も、 本来社会学部に留学するにはフランス語力が足りなかった が、交流課の方が交渉してくださり特別に編入を許可して いただいた。他の留学生と比べて語学力が足りず苦労も しましたが、無理にでも社会学部に行かせていただけたこ とに本当に感謝している。

# 後輩へのアドバイス・メッセージ:

筑波大学での交換留学は自主的に準備を進める必要があり 大変だと思う。ただ留学準備を通して身につく自主性や情報 収集能力、実行力は留学後まで必ず役立つと信じて一つずつ こなしていって欲しい。 また、交換留学は学生時代にしか できない経験である。世界中から集まる同世代の学生たちと 1年間共に過ごし、議論を深めることは刺激的で他に変え 難い経験だと思うので、迷っている人がいたらぜひチャンス を掴んで欲しいと思う!

